

令和6年度学校評価アンケート結果

令和6年12月9日（月）～24日（火）にかけて、下記の通り学校評価アンケートを実施しました。

記

- 1 目的 評価結果を分析・活用し、本校の教育の充実を図るとともに、学校・家庭・地域の連携協力による学校づくりを推進するため
- 2 対象 保護者 5,6年生児童 教職員
- 3 公表 学校協議会において、学校評価における関係者評価の資料として活用する。

結果は、次のとおりまとめました。

1 アンケート集計結果

①保護者 ②児童 ③教員

2 肯定率が上がった回答項目

①保護者 ②児童 ③教員

3 肯定率が下がった回答項目

①保護者 ②児童 ③教員

※ 肯定的とは…回答が「強くそう思う」または「そう思う」

否定的とは…回答が「あまり思わない」または「まったく思わない」

Ⅰ-①（保護者対象）学校評価アンケート結果

質問 番号	質問項目				昨年度
		肯定的	否定的	肯定的回答 昨年比	
1	家で、子どもと学校の話をする。	89.1%	10.9%	新設項目	—
2	子どもは、学校へ行くのを楽しみにしている。	86.5%	13.5%	-4.3%	90.8%
3	子どもは、授業が楽しくわかりやすいと言っている。	81.1%	18.9%	-9.4%	90.5%
4	先生は、子どもを理解している。	90.9%	9.1%	0.6%	90.3%
5	学校は、教育方針をわかりやすく伝えている。	84.0%	16.0%	-6.1%	90.1%
6	学校は、発達段階に応じて、子どもに人権を尊重する意識を育てようとしている。	87.3%	12.7%	-2.8%	90.1%
7	学校は、保護者・地域のおもいや願いなど保護者の相談に応じている。	90.1%	9.9%	0.2%	89.9%
8	通知表（あゆみ）は、子どもの学力や達成度をわかりやすく、適切に評価されている。	83.9%	16.1%	-5.7%	89.6%
9	子どもの心身の健康について、気軽に先生に相談できる。	87.5%	12.5%	-1.9%	89.4%
10	学校はいじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる。	86.3%	13.7%	-3.1%	89.4%
11	学校は、将来の進路や就職などにつながるよう、様々な取り組みや学習のふり返しを行っている。	82.0%	18.0%	-7.2%	89.2%
12	運動会・林間学校・修学旅行などの学校行事は、積極的に参加できるよう工夫されている。	94.8%	5.2%	5.8%	89.0%
13	学校は、子どもに自分の生き方や考え方、生命の大切さや社会ルールなど学ぶ機会をもっている。	89.7%	10.3%	1.0%	88.7%
14	学校は、キャリア教育、環境、国際理解、福祉ボランティアなどの現代的課題について子どもに学ばせている。	76.0%	24.0%	-12.5%	88.5%
15	学校は、食育について適切な指導を行っている。	90.3%	9.7%	2.0%	88.3%
16	学校は、タブレットなどを活用し学習に取り組んでいる。	82.9%	17.1%	-5.2%	88.1%
17	先生は、すべての教育活動において、子どもの人権を尊重する姿勢で指導に当たっている。	91.8%	8.2%	4.0%	87.8%
18	学校は、防災や防犯、事故防止に配慮した教育活動を行っている。	88.9%	11.1%	1.3%	87.6%
19	学校は、家庭に手紙などの事務連絡や教育情報の提供を適切に行っている。	91.2%	8.8%	3.8%	87.4%
20	学校は、図書室の充実をはじめ、読書指導を積極的に行っている。	90.2%	9.8%	3.0%	87.2%
21	学校は、支援学級と通常の学級との交流や、中学校、保育園・幼稚園・こども園と交流する機会を設けている。	74.8%	25.2%	-12.1%	86.9%

1-②（児童対象）学校評価アンケート結果

質問 番号	質問項目				昨年度
		肯定的	否定的	肯定的回答 昨年比	
1	学校に行くのは楽しい。	82.5%	17.5%	-1.3%	83.8%
2	授業はわかりやすく楽しい。	83.1%	16.9%	-3.9%	87.0%
3	授業では、タブレットを使って調べたり、実験・観察をしたり、学校外へ見学に行く機会がある。	83.8%	16.2%	-1.5%	85.3%
4	授業で自分の考えをまとめたり、発表したりする機会がある。	86.4%	13.6%	1.8%	84.6%
5	授業でわからないことについて、先生に質問しやすい。	81.2%	18.8%	10.5%	70.7%
6	先生は、学習で自分が努力したことを認めてくれる。	88.4%	11.6%	9.6%	78.8%
7	通知表（あゆみ）の学習成績のつけ方になっとくできる。	85.7%	14.3%	-2.9%	88.6%
8	担任の先生や担任以外の先生に、困ったことがあれば相談することができる。	65.6%	34.4%	7.9%	57.7%
9	先生は友達関係やいじめなどで困っていることがあれば、注意をしたり、アドバイスをしてくれたり対応してくれる。	84.4%	15.6%	3.1%	81.3%
10	家族と学校の話をする。	76.0%	24.0%	新設項目	
11	将来の夢や目標をもっている。	81.1%	18.9%	5.5%	75.6%
12	人の役に立ちたいと思っている。	89.0%	11.0%	-2.9%	91.9%
13	運動会や林間学校、修学旅行など学校行事は楽しい。	94.1%	5.9%	0.6%	93.5%
14	児童会活動は活発だと思う。	79.3%	20.7%	-11.0%	90.3%
15	授業などで、自分の生き方や考え方、生命の大切さや社会ルールなどについて考えたり学んだりする機会がある。	85.1%	14.9%	-2.7%	87.8%
16	給食などを通じて、食べることの大切さを学ぶ機会がある。	87.6%	12.4%	-2.7%	90.3%
17	キャリア教育、環境、国際理解、福祉ボランティアなどについて学習する機会がある。	77.9%	22.1%	1.5%	76.4%
18	学校で、事件・地震や火災などが起こった場合、どうしたらよいかを教えてもらっている。	95.4%	4.6%	4.3%	91.1%
19	授業でタブレットなどを使って学習することがある。	94.8%	5.2%	-1.1%	95.9%

I-③（教職員対象）学校評価アンケート結果

質問 番号	質問項目				昨年度
		肯定的	否定的	肯定的回答 昨年比	
1	あなたは、学校教育目標やめざす子ども像を意識して学級や学年運営、学校運営に取り組むことができていますか。	100.0%	0.0%	10.7%	89.3%
2	あなたは、研究テーマを意識して授業を行うことができていますか。	100.0%	0.0%	17.8%	82.2%
3	あなたは、児童が生き生きと学校生活を送れるよう、教職員で日常的に話し合っていますか。	96.3%	3.7%	3.4%	92.9%
4	あなたは、学習計画や授業、行事などについて学年や分掌で話し合うことができていますか。	96.3%	3.7%	3.5%	92.8%
5	あなたは、学習指導要領の趣旨をふまえ、教育課程の編成にあたることができていますか。	96.3%	3.7%	17.7%	78.6%
6	あなたは、教育活動全般にわたって振り返り、次年度の計画に生かすことができていますか。	96.2%	3.8%	7.0%	89.2%
7	あなたは、子どもの意見をよく聞いていますか。	96.3%	3.7%	-0.1%	96.4%
8	あなたは、教育活動全般について、保護者や地域の願いに応えていますか。	92.6%	7.4%	-3.8%	96.4%
9	あなたは、学習評価のあり方について十分話し合い、適切に評価をすることができていますか。	96.3%	3.7%	3.5%	92.8%
10	あなたは、学習内容に応じて、学習形態や学習方法などの児童の意欲が高まるような工夫、改善を行っていますか。	96.3%	3.7%	-0.2%	96.5%
11	あなたは、問題行動が起こった時、組織的な対応をすることができていますか。	85.2%	14.8%	-4.1%	89.3%
12	あなたは、生徒指導が必要な事案が生じたとき、家庭と連携をとることができていますか。	92.6%	7.4%	-3.9%	96.5%
13	あなたは、必要に応じて、警察・少年サポートセンター・子ども家庭センター・教育委員会等の関係諸機関との連携をとることができていますか。	85.1%	14.9%	-0.6%	85.7%
14	あなたは、キャリア教育等、児童が将来の進路や生き方について考える機会を設けていますか。	92.6%	7.4%	6.9%	85.7%
15	あなたは、学校行事が児童にとって魅力あるものとなるために、工夫・改善を行っていますか。	92.6%	7.4%	6.9%	85.7%
16	あなたは、児童会活動を自主的にできるよう、支援することができていますか。	85.2%	14.8%	-0.5%	85.7%
17	あなたは、児童が情報リテラシーを高めることができるよう取組むことができていますか。	81.5%	18.5%	-0.7%	82.2%
18	あなたは、学校として、読書指導に積極的に取り組んでいると思いますか。	91.5%	8.5%	5.7%	85.8%
19	あなたは、児童が生命の大切さや社会ルールを身につけることができるよう、年間指導計画に基づき、道徳の時間を中心に道徳教育を継続的にこなっていますか。	88.9%	11.1%	-7.6%	96.5%
20	あなたは、在日外国人や障害者などへの理解を深めるとともに人権尊重の意識を高められるよう様々な課題や指導方法について話し合うことができていますか。	85.2%	14.8%	6.7%	78.5%
21	あなたは、キャリア教育、環境・国際理解・福祉ボランティアなど現代的課題を教育活動に取り入れていますか。	85.2%	14.8%	13.8%	71.4%
22	あなたは、給食を中心とした食育に取り組んでいますか。	74.0%	26.0%	9.7%	64.3%
23	あなたは、体罰やセクシャル・ハラスメントの防止をはじめ、人権尊重の姿勢に基づいた指導を行っていますか。	96.2%	3.8%	-0.2%	96.4%
24	あなたは、各分掌や各学年などで情報交換や課題の検討や相談を行い、職務に取り組むことができていますか。	96.3%	3.7%	7.1%	89.2%
25	あなたは、事故、事件、災害等に対して迅速かつ適切な対処ができるよう、自身の役割などを理解していますか。	92.6%	7.4%	-3.9%	96.5%

26	あなたは、備品や設備点検を通して使用時等の安全について適切に対応することができますか。	85.2%	14.8%	10.2%	75.0%
27	あなたは、児童が、図書館を活用できるよう授業や日常の声かけなど支援をしていますか。	75.2%	24.8%	0.2%	75.0%
28	あなたは、タブレットなど情報機器を活用し、授業をすることができますか。	92.5%	7.5%	3.3%	89.2%
29	あなたは、分掌等で校内研究を計画し、参加するとともに学んだことを学習に生かしていますか。	96.3%	3.7%	3.5%	92.8%
30	あなたは、初任者や経験の少ない教職員を学校全体で育成する体制がとれるよう取り組んでいますか。	81.4%	18.6%	-7.9%	89.3%
31	あなたは、研修等に参加した成果を他の教職員に伝えていますか。	81.5%	18.5%	-11.4%	92.9%
32	あなたは、出席簿や指導要録等の公簿を適切に記入し、点検を行うことができますか。	85.1%	14.9%	-7.8%	92.9%
33	あなたは、校種間（保幼こ中など）連携に参加し、教育活動全般に生かすことができますか。	62.9%	37.1%	2.2%	60.7%
34	あなたは、支援学級と通常学級の連携が円滑に進むよう取り組むことができますか。	77.2%	22.8%	2.2%	75.0%

3 - ①肯定率が上がった項目 上位3項目（保護者）

質問番号	質問項目	肯定的	否定的	肯定的回答 昨年比
12	運動会・林間学校・修学旅行などの学校行事は、積極的に参加できるよう工夫されている。	94.8%	5.2%	5.8%
17	先生は、すべての教育活動において、子どもの人権を尊重する姿勢で指導に当たっている。	91.8%	8.2%	4.0%
19	学校は、家庭に手紙などの事務連絡や教育情報の提供を適切に行っている。	91.2%	8.8%	3.8%

・行事は一連のプロセスを通じて、児童が大きく成長する場です。特別な限られた場面だけでなく、行事に向けた取り組みも含め、肯定的に捉えていただいていると感じています。人と協働する力は、子どもたちが今後社会に参画するために必要な力となります。行事にとどまらず、日常的に自分の考えを整理して伝えたり振り返ったりする場をもち、子ども自身が集団の中で成長を実感できるよう、今後も取り組みを進めてまいります。

・教職員の人権意識については肯定的に捉えてくださった方が増加する一方で、僅かですが否定的なご意見も頂いております。教職員は子どもにとって身近な存在であり、子どもたちの見本となるべき存在であると考えています。職員全員が高い人権意識を持ち子ども達と対峙できるよう、研修や日々の活動を通して、今まで以上に人権感覚を磨いていくよう努力してまいります。

・本校HPの『ましたっ子ブログ』について肯定的なご意見を多数いただきました。写真を添えて発信できるブログは、子どもの様子や取り組みの内容を知っていただける貴重なツールと捉えています。ご家庭との連携を進めるためにも、発信の場を大切にしたいと考えています。

3 - ②肯定率が上がった項目 上位3項目（児童）

質問番号	質問項目	肯定的	否定的	肯定的回答 昨年比
5	授業でわからないことについて、先生に質問しやすい。	81.2%	18.8%	10.5%
6	先生は、学習で自分が努力したことを認めてくれる。	88.4%	11.6%	9.6%
8	担任の先生や担任以外の先生に、困ったことがあれば相談することができる。	65.6%	34.4%	7.9%

・授業の中で分からないことがあったり、生活で困ったことがあれば教員に質問・相談しやすいと感じる児童の割合が増えました。教員が自分のことを認めてくれている、と感じる児童が多く、信頼を寄せていることが感じられます。

・子どもから教職員への質問や相談については肯定的回答が増えているものの、3分の1強の児童が「相談できない」と回答しており、課題として捉えています。クラス担任だけではなく、学校全ての教職員がチームとなって児童との関わりや見守りを継続していきます。

3 - ③肯定率が上がった項目 上位3項目（教職員）

質問番号	質問項目	肯定的	否定的	肯定的回答 昨年比
2	あなたは、研究テーマを意識して授業を行うことができますか。	100.0%	0.0%	17.8%
5	あなたは、学習指導要領の趣旨をふまえ、教育課程の編成にあたることができますか。	96.3%	3.7%	17.7%
21	あなたは、キャリア教育、環境・国際理解・福祉ボランティアなど現代的課題を教育活動に取り入れていますか。	85.2%	14.8%	13.8%

・今年度は「つながりました 広がりました 深まりました～自己選択・自己決定の場を通し、共感できる場面を増やす～」をテーマに、キャリア教育の視点から児童の主体性を伸ばす取り組みを進めています。結果、全ての職員（100%）が常に研究テーマを意識しながら教育課程を進めている、という結果になりました。今後も学校全体の方向性を揃えながら取り組みを進めてまいります。

3-①肯定率が下がった項目（保護者）上位3項目

質問番号	質問項目	肯定的	否定的	肯定的回答 昨年比
14	学校は、キャリア教育、環境、国際理解、福祉ボランティアなどの現代的課題について子どもに学ばせている。	76.0%	24.0%	-12.5%
21	学校は、支援学級と通常の学級との交流や、中学校、保育園・幼稚園・こども園と交流する機会を設けている。	74.8%	25.2%	-12.1%
3	子どもは、授業が楽しくわかりやすいと言っている。	81.1%	18.9%	-9.4%

・キャリア教育や国際理解教育、中学校や園との連携については、学校全体で年間を通じて取組みを進めていますが、大きく降下しました。教職員アンケートの「キャリア教育に取り組んでいる」の項目については大きく向上していたのですが、教員の認識と大きく乖離した形です。学校でどんな取組みをし、それぞれの活動が何につながっているのか、保護者の方への発信が十分でなかったと反省しています。今後、キャリア教育などを進めていくうえで、保護者や地域の方の協力は不可欠と感じています。今後は取組みの意義・趣旨などをより丁寧に伝えながら、取組みを進めていきたいと思っています。

・授業についての肯定率の降下は児童の回答とも連動しており、大きな課題として受け止めております。「授業が分かる、楽しい」ということが、「学校が楽しい」につながっていると考えています。分かる授業、楽しい授業づくりをめざし、校内で相互参観するなど、授業力の向上に努めてまいります。

3-②肯定率が下がった項目（児童）上位4項目

質問番号	質問項目	肯定的	否定的	肯定的回答 昨年比
14	児童会活動は活発だと思う。	79.3%	20.7%	-11.0%
2	授業はわかりやすく楽しい。	83.1%	16.9%	-3.9%
7	通知表（あゆみ）の学習成績のつけ方になっとくできる。	85.7%	14.3%	-2.9%
12	人の役に立ちたいと思っている。	89.0%	11.0%	-2.9%

・児童会活動については肯定的回答が大きく減少する結果となりました。昨年度から2年連続で下降しています。味舌サミット（委員会の代表が集まり味舌小をよりよくするために何ができるか話し合う会議）が開催されなかったこと等も一因と考えています。児童会活動は「学校の主役は自分達だ」と児童が実感し、主体的に活動することで自己有用感が向上する貴重な機会です。取組みを自分事として意識させ、日々の活動の中で児童が主体となって活動が進められるよう、教員は働きかけていきたいと考えています。

・授業・成績についての2項目が下降したことについては、子どもの声として課題として重く受け止めています。指導と評価の一体化を意識した授業づくりに課題があると言えます。「分かる」「できる」の実感が自己有用感につながり、「人の役に立ちたい」という意識が育つと考えます。今一度授業の基礎・基本に立ち返り、児童が「分かる」「できる」と感じられるような授業づくりをめざして授業改善に努めてまいります。

3-③肯定率が下がった項目（教職員）上位3項目

質問番号	質問項目	肯定的	否定的	肯定的回答 昨年比
31	あなたは、研修等に参加した成果を他の教職員に伝えていますか。	81.5%	18.5%	-11.4%
11	あなたは、問題行動が起こった時、組織的な対応をすることができていますか。	85.2%	14.8%	-4.1%
12	あなたは、生徒指導が必要な事案が生じたとき、家庭と連携をとることができていますか。	92.6%	7.4%	-3.9%

・様々な研修に積極的に参加しているものの、学んだ内容を学校全体に還元することができていないこと、また、問題行動が生じた際に組織的に対応できていないと感じていることも、いずれも組織としての課題と捉えています。些細なことでも言い合える教職員同士の関係性、風通しの良い職場環境づくりを今後とも進めてまいります。

・生徒指導事案が生じた際の保護者との連携は、再発防止に向けて必要不可欠なものです。ほとんどの教員が意識して行っていますが、一方でできていないと感じている教員が増えていることは課題です。基本の対応を再度確認し、組織だった対応を進められるように改善してまいります。